

【伊藤総領事メッセージ 2019 年 8 月】

7月1日はカナダの建国記念日である「カナダ・デー」の祝日で、カナダ各地で様々な祝賀行事が行われます。今年のカナダ・デーには、オンタリオ州バーリントン市において、東京都板橋区との姉妹都市提携30周年を記念して様々な行事が行われました。板橋区からは坂本健区長をはじめとする訪問団がバーリントン市を訪問し、マリアンヌ・ミード・ワード・バーリントン市長他のバーリントン市側関係者と共にこれらの記念行事に出席され、夜にはカナダ・デーを祝ってオンタリオ湖上に上がる花火を皆で満喫しました。

またこの30周年の機会に、友好の証である「板橋ガーデン」の開園式も行われ

ました。「日本晴れ」ならぬ「カナダ晴れ」の素晴らしい天気の下、開園式には100名近い人々が集まりました。日本庭園をバーリントン市に設立するというアイデアは、バーリントン市からの親善訪問団が板橋区を訪問し、同区内の茶室「徳水亭」の日本庭園を訪問したときから始まったそうです。板橋とは気候も植生も異なるバーリントンでは、板橋と全く同じ庭園を作ることは出来ません。そこでバーリントン市は、日本庭園を作るにあたり、

地元の造園家のバージニア・バードさんに設計を依頼し、日本とカナダを調和させた庭園を目指しました。バードさんは、京都で様々な日本庭園を訪問したこともあり、大変熱心に研究され、ユニークなアイデアでこの板橋ガーデンを設計しました。たとえば、カナダ国内に生息する23種類もの日本の紅葉を園内に配置し、板橋区の花であるツツジも植えられています。また、オンタリオ州の石を使った石庭もデザインされ、カナダの自然の風景も見事に反映されています。ガーデン内には「東屋」も設置され、一息つきながら庭園全体を見渡して鑑賞することも出来ます。日加の交流による新しい価値の創造が板橋ガーデンの中に詰め込まれたと言えます。バーリントン市民は開園前からこの庭園を訪れて写真撮影を行っていたとのことですが、この板橋ガーデンの近くにある板で出来た橋（「板橋」）とと



もに、これからも姉妹都市の相手である「板橋」の名前をバーリントン市民に想起させ、市民の憩いの場として愛されてほしいと思います。

姉妹都市の関係では、7月29日、北海道名寄市において、オンタリオ州リン



ゼイとの姉妹都市提携50周年記念行事が開催されました。名寄もリンゼイも、決して大きな自治体ではなく、名寄市の人口は3万人を割り込んでいるのですが、人々の温かい心と、自分達で出来る範囲での交流を続けることが、この50年という金字塔を打ち立てるに至ったことを感じさせられました。まさに「継続は力なり」です。5年ごとの相互親善訪問と、高校生を対象とした隔年で行う交換学生(毎回2~3名、夏休みに2ヶ月程度)の派遣と受け入れが主な姉妹都市関連事業であると

のことですが、その他にもいくつかの人的交流事業が行われ、これまでの交流人口は双方で合計614名になるそうです。

昨年は名寄市からの訪問団がリンゼイを訪れた際に、双方の国際交流委員会に対して総領事表彰を出ささせていただきました。その際に、「是非、来年の50周年の機会には名寄にいらしてください」と懇願されたこともあり、夏休みを利用して日本に一時帰国した機会に、私も名寄を訪問しました。50周年目となる今年は、リンゼイ側の訪問団が名寄を訪問し、過去の交換プログラムの参加者やホストファミリー、国際交流委員会で活躍された方々などが集まって旧交を温めた他、名寄市内にある「名寄リンゼイ公園」での記念碑の除幕式、祝賀レセプションも行われました(ちなみに、名寄リンゼイ公演には、これまでも姉妹都市関係の周年を記念してカエデや桜、松などが植樹され、大きく育ってきています)。祝賀レセプションでは、名寄市で作られるようになったという白ワインや、リンゼイに40年ほど前に高校生として滞在した経験のある地元の農家の方から提供された甘いミニトマトが出され、名寄市の花である向日葵や、名寄市特産のサンダーソニアの花もふんだんに飾られるなど、彩りが添えられました。

名寄市では、リンゼイとの姉妹都市関係



を考慮し、JETプログラムの下で派遣される英語教師もカナダ人を継続して受け入れているそうです。中にはALTとして名寄で勤務の後、地元の名寄市立大学で教鞭をとるようになった方もいらっしゃいます。北海道には、カナダと姉妹都市提携を結んでいる自治体が25もあり、名寄はその中で2番目に長い活動をしているとのこと。

姉妹都市交流が始まるきっかけは様々ですが、その縁を長く続けていく上で、草の根レベルでの熱意は欠かせません。そのような方々の御尽力により、後に続く世代も交流に加わり、相手国の人々と文化を知り、友情と敬愛を深めていくことができるのです。様々な困難を克服し、姉妹都市交流を続けてくださっている皆様方に改めて感謝の意を表します。

